

令和4年度（2022年度）

管理事業名	博物館事業			総合計画の体系	大綱 7 都市魅力 政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり 施策 2 文化財の保存と活用
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費 (目) 8 博物館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	文化財保護課		
事業の目的と概要 ・地域の歴史・文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していく。その成果をさまざまな展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の歴史・文化を発見、見直し、創造していく。 ・市民が集い、多様な体験を活かしながら主体的に博物館活動に参加することで、さまざまな連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとする。					

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
特別展等回数	回	3	5	5	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数	数	7	7	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	29,209	29,939	33,229	良好な状態で保管している館蔵資料の数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】 特別展等回数についての評価 令和4年度は5回の特別展等の展覧会と関連イベントを実施し、その他、ニュータウン情報館と連携して巡回写真展「私たちの千里ニュータウン」を開催した。博物館ホームページのバーチャル・ミュージアムでは、特別展の展示内容を補足するコンテンツを追加掲載し、関連講演会等の動画8本を新たに公開するなど博物館の事業のデジタル化を進めた。特別展・企画展におけるアンケートによると観覧者の約9割が展示内容を「とても良かった・良かった」と評価し、高い満足度であった。</p> <p>【成果指標2】 刊行物数についての評価 調査研究の成果は、展示図録、博物館だより、博物館館報を刊行し、公表した。</p> <p>【成果指標3】 収蔵資料数についての評価 館蔵資料については、新規収蔵資料に対する燻蒸を2回行った。また、館内の害虫棲息状況や浮遊菌等の環境モニター調査を2回実施し、博物館資料に対する適正な保管環境を維持した。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、臨時休館措置を講じることなく開館を継続した。それにより、利用者数、開館日数とも増加し、単位当たりコストが減少した。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>令和9・10年度の大規模改修（予定）に合わせ、常設展示の大規模リニューアルを行うことで吹田の歴史学習の拠点としての機能を高めていく。新規収集資料の蓄積、調査研究の成果や最新の学術的知見を取り入れた展示内容に更新し、市民の生涯学習を支援していく。</p> <p>さらに、数多く所蔵している西村公朝氏の作品の公開や、博物館資料台帳をデータベース化し、ホームページで公開するなどの更なるデジタル化の推進等を通じ、より魅力的な博物館となるよう取組みを進める。</p>	<p>その他、増加する博物館資料の収蔵施設確保が課題であり、対策を検討している。また、施設管理に当たり、業務プロセスの改善のため、包括管理業務委託の導入を検討している。</p>
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,477	4,520	1,043
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,477	4,520	1,043
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,329,734	1,334,067	4,334	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	34,797	40,766	5,969
建物・工作物	1,329,734	1,334,067	4,334	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	34,797	40,766	5,969
無形固定資産	297	297	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	38,274	45,286	7,012
建物・工作物	-	-	-	純資産	1,298,398	1,295,463	△2,935
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	6,641	6,385	△256	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	1,336,672	1,340,749	4,077
資産の部合計	1,336,672	1,340,749	4,077	負債及び純資産の部合計	1,336,672	1,340,749	4,077

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	401	492	695	203
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	281	393	669	276
経常収入 小計(a)	682	885	1,363	479
給与関係費	52,571	54,253	63,470	9,218
物件費	71,529	184,962	66,813	△118,149
維持補修費	3,038	26,769	16,769	△9,999
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	696	373	938	565
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	57,597	58,249	68,438	10,189
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,287	3,477	4,520	1,043
退職手当引当金繰入額	4,705	5,102	9,580	4,477
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	193,422	333,184	230,528	△102,656
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△192,741	△332,300	△229,165	103,135
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△192,741	△332,300	△229,165	103,135
一般財源充当額	133,658	476,352	226,230	△250,123
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△59,082	144,052	△2,935	△146,988

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	682	885	1,363	479
行政サービス活動支出	134,340	272,577	155,078	△117,499
行政サービス活動収支差額	△133,658	△271,692	△153,715	117,978
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	204,660	72,515	△132,145
投資活動収支差額	-	△204,660	△72,515	132,145
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△133,658	△476,352	△226,230	250,123
一般財源充当額	133,658	476,352	226,230	△250,123
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	吹田市立博物館エレベーター改修工事の実施による資産の増
【PL】 物件費	令和3年度に実施した工事費用が、令和4年度を大きく上回ったことによる減
【PL】 維持補修費	令和3年度に実施した工事費用が、令和4年度を大きく上回ったことによる減
【PL】 減価償却費	令和3年度に実施した改修工事により資産が増えたことによる減価償却費の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人	コスト 25,938円 実績 7,457人	コスト 26,625円 実績 12,514人	コスト 15,727円 実績 14,658人
開館日1日	コスト 957,535円 実績 202日	コスト 1,423,863円 実績 234日	コスト 800,444円 実績 288日

分析内容
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休館を行った令和2年度及び令和3年度に対し、令和4年度は人数制限は行ったものの臨時的休館措置を講じることなく、利用者数、開館日数とも増加した。それにより、単位当たりコストは前2か年度に比べ減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	65,424	1,392	7.00
会計年度任用等	8,437	-	-
特別職非常勤	3,709	-	-
合計	77,570	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		57.7	55.7	56.6	0.9
施設維持補修費比率		0.1	0.9	0.5	△0.4
経常費用対公共資産比率		6.9	11.1	7.5	△3.6
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.2	0.1	0.3	0.2
一般財源充当比率		99.5	99.8	99.4	△0.4